

問1 日本銀行が担っている「政府の銀行」としての役割について、具体的な事例として最も適切なものはどれか選びなさい。（2024年 宮城県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 私たちが普段利用している民間銀行に対して、資金が不足した際に融資を行う。 | 2. 一般の個人や企業から貯金を預かったり、住宅ローンの貸し付けを行ったりする。 | 3. 物価が上がりがすぎた際に、市場に流通するお金の量を減らして景気を抑制する。 | 4. 政府が国民から集めた税金（国庫金）を預かり、政府の指示で年金の支払いなどを行う。 |
|---|--|--|---|

問2 日本銀行が担う「発券銀行」としての役割と、政府や国会の役割を区別したとき、日本銀行の業務として正しい説明はどれですか。（2017年 岩手県公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 道路や橋、公園などの社会資本を直接供給し、経済基盤を整備する | 2. 電気やガスなどの公共料金の価格を決定し、国民生活の混乱を防ぐ | 3. わが国唯一の中央銀行として、日本銀行券を発行し流通量を管理する | 4. 国会において、国の収入と支出の計画である予算を審議し議決する |
|-----------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|

問3 銀行、家計、企業の間で行われる資金のやり取りにおいて、銀行が果たす役割と「利子」の仕組みについての説明として最も適切なものはどれですか。（2024年 島根県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 銀行は企業から受け取った利子の全額を、手数料としてそのまま政府の財源に充てなければならない。 | 2. 家計が銀行へ預けた預金に対して、銀行は元本に利子を加えて払い戻し、企業への貸し出しに対しては元本と利子の返済を受ける。 | 3. 企業が銀行から借りた資金の対価として支払うのは「配当金」であり、これは企業の業績が悪化しても支払額が変わることはない。 | 4. 家計は銀行に預金を行うことで、企業の経営に直接参加する権利を得る代わりに、利子を受け取ることができなくなる。 |
|---|--|--|---|

問4 日本銀行が「銀行の銀行」と呼ばれる理由として、最も適切なものを次のうちから1つ選びなさい。（2025年 熊本県公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|--------------------------------|
| 1. 国の中央銀行として、紙幣を独占的に発行するから。 | 2. 一般の個人や企業に対して資金の貸し付けや口座開設を行うから。 | 3. 民間金融機関に対して預金の受け入れや資金の貸し付けを行うから。 | 4. 全国の民間銀行の経営方針や役員人事を直接指示するから。 |
|-----------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|--------------------------------|

問5 日本銀行は、景気が悪くなった際に世の中に出回るお金の量を増やしたり、景気が過熱した際に抑えたりすることで、物価の安定を図ります。このような中央銀行としての役割に基づいた活動を何と呼びますか。（2020年 神奈川県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|----------|---------|-----------|
| 1. 金融政策 | 2. 所得再分配 | 3. 財政政策 | 4. 公開市場操作 |
|---------|----------|---------|-----------|

問6 政府が実施する財政政策のうち、不況の時期に有効需要を創出し、景気を下支えすることを目的として行われる施策の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2019年 香川県公立入試 類似）

- | | | | |
|------------------------------|----------------------------------|------------------------------|--------------------------------|
| 1. 公共事業への支出を抑制し、あわせて増税を実施する。 | 2. 日本銀行から国債を買い取り、通貨の流通量を直接減少させる。 | 3. 公共事業への支出を拡大し、あわせて減税を実施する。 | 4. 社会保障制度を廃止し、政府による財政支出をゼロにする。 |
|------------------------------|----------------------------------|------------------------------|--------------------------------|

問7 外国為替市場において、1ドルを交換するために必要な日本円が150円から100円に変化した状況を想定します。このように他国の通貨に対して「円の価値が高い」状態を何と呼び、この時、10万円をアメリカドルに換えた場合に受け取ることができるドルの額はどうなりますか。（2026年 三重県公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|
| 1. 円安と呼び、受け取るドルが少なくなる | 2. 円高と呼び、受け取るドルが少なくなる | 3. 円安と呼び、受け取るドルが多くなる | 4. 円高と呼び、受け取るドルが多くなる |
|-----------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|

問8 ある旅行者が、出発前に1ドル100円のレートで2万円をすべてドルに外貨交換しました。旅行中に50ドルを使用し、帰国後に残ったドルをすべて1ドル110円のレートで日本円に戻した場合、手元に戻ってくる金額はいくらになりますか。（2026年 福島県公立入試 類似）

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 15,000円 | 2. 22,000円 | 3. 16,500円 | 4. 11,000円 |
|------------|------------|------------|------------|

問9 商店街の活性化を目的としたメモの中に、「銀行からの融資を受けて設備投資を行う」という資金調達の方法が記されている場合、この仕組みの説明として最も適切なものはどれですか。（2019年 群馬県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|------------------------------------|---|
| 1. 寄付金を募り、特定のプロジェクトに対して不特定多数の個人が資金を供出する方法である。 | 2. 銀行が預金者から集めた資金を、銀行の判断と責任で企業などに貸し出す方法である。 | 3. 企業が株式や社債を発行し、投資家から直接資金を募る方法である。 | 4. 地方公共団体が発行する地方債を、住民が直接購入して資金を提供する方法である。 |
|---|--|------------------------------------|---|

問10 日本銀行が、一般の銀行との間で国債などを売買することによって市場の通貨量を調節し、景気や物価を安定させる政策の名称を答えなさい。（2023年 大阪府公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------|----------|----------|------------|
| 1. 公開市場操作 | 2. 所得再分配 | 3. 財政投融资 | 4. 預金準備率操作 |
|-----------|----------|----------|------------|

問11 日本銀行、一般の金融機関、企業、公開市場という4つの主体の関係において、日本銀行が国債を買い入れる「買いオペレーション」が実施された場合、その後の資金の流れとして最も適切なものはどれですか。（2024年 京都府公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 一般の金融機関から日本銀行へ国債が売却され、日本銀行が企業から直接資金を回収する。 | 2. 企業から一般の金融機関へ国債が売却され、金融機関から日本銀行へ代金が支払われる。 | 3. 政府から日本銀行へ国債が発行され、日本銀行が企業へ直接公共事業の代金を支払う。 | 4. 日本銀行から一般の金融機関へ代金が支払われ、金融機関から企業への貸し出しが増える。 |
|--|---|--|--|

問12 企業が事業に必要な資金を調達する経路において、銀行などの金融機関から借り入れるのではなく、企業が自ら「株式」や「債券」を発行し、投資家から直接資金を受け取る仕組みを何というか、名称を答えなさい。（2022年 愛知県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|-------|---------|
| 1. 直接金融 | 2. 間接金融 | 3. 融資 | 4. 公定歩合 |
|---------|---------|-------|---------|

問13 企業が事業に必要な資金を調達する仕組みのうち、銀行などの金融機関から融資を受けるのではなく、企業が株式や債券を発行し、家計などの投資家から直接資金を調達する方式を何といいますか。（2023年 福島県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|-----------|---------|---------|
| 1. 直接金融 | 2. 公開市場操作 | 3. 間接金融 | 4. 信用創造 |
|---------|-----------|---------|---------|

問14 不況のときに、景気を回復させるために日本銀行が行う金融政策と政府が行う財政政策の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2025年 徳島県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---------------------------------------|--|--|
| 1. 日本銀行が公共事業の支出を拡大し、政府が国債を売却して通貨量を減らす。 | 2. 日本銀行が国債を売却して通貨量を減らし、政府が増税や歳出削減を行う。 | 3. 日本銀行が増税や歳出削減を行い、政府が国債を買い入れて通貨量を増やす。 | 4. 日本銀行が国債を買い入れて通貨量を増やし、政府が減税や歳出拡大を行う。 |
|--|---------------------------------------|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 政府が国民から集めた税金（国庫金）を預かり、政府の指示で年金の支払いなどを行う。	「政府の銀行」とは、日本銀行が政府のお金を扱う機関であることを指します。具体的には、納税者が納めた税金を政府の預金（国庫金）として受け入れたり、公共事業の代金や公務員の給料、年金の支払いなどを政府に代わって実行したりします。民間銀行への融資は「銀行の銀行」としての役割、一般の個人との取引は行わないのが日本銀行の特徴です。
問2	答え 3 わが国唯一の中央銀行として、日本銀行券を発行し流通量を管理する	日本銀行は「中央銀行」として、通貨（日本銀行券）の発行と管理を通じて経済の安定を図ります。これに対し、予算の議決は国会が行い、公共料金の認可や社会資本（インフラ）の整備は、主に政府や地方公共団体が政策として行う業務であるため、中央銀行の役割とは異なります。
問3	答え 2 家計が銀行へ預けた預金に対して、銀行は元本に利子を加えて払い戻し、企業への貸し出しに対しては元本と利子の返済を受ける。	銀行は、家計から預かった「預金」に対して利子を支払う一方で、企業への「貸し出し」の際にも利子を受け取ります。一般的に貸し出しの利子率の方が預金の利子率よりも高く設定されており、その差額が銀行の主な収益源となります。これにより、資金が余っている家計から資金を必要としている企業へと、効率的にお金が流れる仕組みが成り立っています。
問4	答え 3 民間金融機関に対して預金の受け入れや資金の貸し付けを行うから。	日本銀行は一般の個人や企業とは取引を行わず、市中銀行などの民間金融機関を対象に資金の貸し付けや預金の受け入れを行います。このため「銀行の銀行」と呼ばれています。
問5	答え 1 金融政策	日本銀行は中央銀行として、通貨の価値を安定させ、経済が健全に発展するように景気を調節する役割を担っています。この活動を「金融政策」といいます。具体的には、公開市場操作（オープン・マーケット・オペレーション）などの手段を用いて、世の中の通貨量を調整します。これに対し、政府が税金や公共事業の予算を通じて景気を調整することは「財政政策」と呼ばれ、日本銀行の役割とは区別されます。
問6	答え 3 公共事業への支出を拡大し、あわせて減税を実施する。	政府が予算を通じて景気を調整することを財政政策といいます。不況時には、道路やダム建設といった公共事業を増やすことで仕事や雇用を生み出すとともに、減税を行って家計が自由に使えるお金を増やすことで、社会全体の消費や投資（有効需要）を刺激する仕組みになっています。
問7	答え 4 円高と呼び、受け取るドルが多くなる	1ドルを交換するために必要な円が少なくなるということは、相対的に日本円の価値が上がったことを意味するため「円高」といいます。例えば、10万円を元手にドルに換える場合、1ドル150円の時よりも1ドル100円の時のほうが、より多くのドルと交換できる（＝受け取るドルが多くなる）ため、海外旅行に行く際などは有利な状況となります。
問8	答え 3 16,500円	出発時に2万円を1ドル100円で交換すると200ドル（20,000 ÷ 100）になります。そこから旅行中に50ドルを消費したため、残金は150ドルです。帰国時に1ドル110円のレートで円に戻すと、150ドル × 110円 = 16,500円となります。外貨を保有している間に円安（ドルの価値が上昇）が進んだため、円に戻した際の金額が増加した事例です。
問9	答え 2 銀行が預金者から集めた資金を、銀行の判断と責任で企業などに貸し出す方法である。	銀行からの融資は「間接金融」に分類されます。この仕組みでは、銀行が預金者から預かった資金をまとめて管理し、審査を通じて貸付先を決定します。資金の出し手である預金者は、自分の預金がどの企業に貸し出されるかを直接選択することはありません。これに対して、株式の発行などで資金を集める方法は「直接金融」と呼ばれます。
問10	答え 1 公開市場操作	日本銀行が金融政策の主要な手段として用いるのが公開市場操作（オープン・マーケット・オペレーション）です。市場の資金量を直接調整する手法であり、景気が過熱しているときには国債を売る「売りオペレーション」、景気が停滞しているときには国債を買う「買いオペレーション」を行い、経済のバランスを整えます。
問11	答え 4 日本銀行から一般の金融機関へ代金が支払われ、金融機関から企業への貸し出しが増える。	買いオペレーションが実施されると、まず日本銀行と一般の金融機関の間で国債と代金の交換が行われます。日本銀行が代金を支払うことで、民間の銀行の手元に資金（通貨）が供給されます。その結果、銀行から企業への貸し出しという新たな資金の流れが生まれ、市場全体の通貨量が増加し、景気の回復が図られます。
問12	答え 1 直接金融	資金の出し手（投資家）と借り手（企業）が、金融機関による預金や貸し出しという仲介を経ずに、証券市場などを通じて直接取引を行う形態であるため、このように呼ばれます。企業は資金を得る代わりに株式や債券を発行し、投資家はその証券を保有することで出資や貸し付けを行います。
問13	答え 1 直接金融	企業が証券市場を通じて投資家から直接資金を集める仕組みを直接金融と呼びます。これに対し、銀行が預金者から集めたお金を企業に貸し出す仕組みは間接金融と呼ばれ、日本の金融システムにおいて重要な役割を果たしてきました。直接金融では、資金を出す側が投資先を自ら選ぶという特徴があります。
問14	答え 4 日本銀行が国債を買い入れて通貨量を増やし、政府が減税や歳出拡大を行う。	不況時には、日本銀行は市中の国債を買い入れて通貨量を増やす金融緩和を行い、政府は減税や歳出拡大（公共事業の増加など）を行う財政政策を実施して景気の回復を図ります。